

関係機関各位

平成29年7月3日

富良野市長 能登 芳昭
富良野商工会議所 会頭 荒木 毅
ふらのまちづくり株式会社
代表取締役社長 西本 伸頭

富良野市中心市街地の路線価が4年連続の上昇 ～対前年変動率「5.9%」上昇・2013年対比「24.1%」上昇～

国税局が7月3日に発表した2017年（H29）の全国各都市の路線価で、富良野市内の中心市街地地区において、フラノマルシェ及びネーブルタウン周辺の路線価が対前年比5.9%上昇。道内各税務署の最高路線価の対前年変動率では倶知安町、札幌市に続き、上川総合振興局管内では唯一の上昇となっています。

富良野市では、2008年（H20）より実施してまいりました中心市街地活性化基本計画に基づく各種事業の効果により、2014年（H26）より4年連続の地価上昇となり、2013年対比で24.1%の上昇となりました。

■官民一体となった協働のまちづくりを実践

富良野市では、2008年11月に富良野市中心市街地活性化基本計画「計画期間：2008年（H20）11月～2014年（H26）10月まで」が内閣府の認定を受け、この計画に基づく第1期事業として、2010年（H22）に「フラノマルシェ」を開設いたしました。

集客数は初年度の約55万人から右肩上がりの成長を続け、2015年（H27）6月に第2期事業である市街地再開発事業「ネーブルタウン」が完成。マルシェ2のオープン後集客数も順調に上昇し、2016年度の実績は入込客数が約121万人となり、今年3月にはオープン以来の来場者数が累計600万人を突破する状況となりました。

これらの事業は、公益的ディベロッパーである「ふらのまちづくり株式会社」が事業主体となって、国の政策に基づき中心市街地の再編を主導し、市は計画策定・補助金等の支援と、官と民がそれぞれの役割分担を明確化し、一体となって取り組む「協働のまちづくり」の成果と考えます。

この度の、本市中心市街地路線価の上昇は、中活基本計画に基づく事業展開が大きな効果を及ぼしたものと思われ、中心市街地の価値向上と共に商店街の資産価値の向上によって、まちなかの賑わい（活性化）にいつそう拍車がかかっていくものと考えております。

今後も引き続き、本市中心市街地活性化の一つのバロメーターとして地価の推移を注視しつつ、中活基本計画に基づく事業展開を着実に推進していきたいと考えております。



【本件に関するお問い合わせ先】

- 富良野市経済部中心街整備推進課長 黒崎幸裕
Tel: 0167-39-2315 Fax: 0167-23-2123
- 富良野商工会議所業務課長 木川田正和
Tel: 0167-22-3555 Fax: 0167-22-3120
- ふらのまちづくり(株) 統括マネージャー 岩本 力
Tel: 0167-23-5177 Fax: 0167-22-0511